

2022 年 9 月 30 日

報道各位

一般社団法人日本化学工業協会

## 日本動物実験代替法学会 第 7 回 日化協 LRI 賞 受賞者決定

一般社団法人日本化学工業協会(住所:東京都中央区、会長:福田信夫(三菱ケミカル(株)代表取締役)、以下「日化協」)は、研究者奨励および育成の一環として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する優れた業績をあげた研究者を表彰するため、日本動物実験代替法学会(理事長:板垣 宏、以下「JSAAE」)内に設立した日化協 LRI 賞<sup>※1</sup>の第 7 回目の受賞者を正式に決定いたしました。

※1 Long-range Research Initiative = 長期自主研究活動



[受賞者] 西川 昌輝 (にしかわ まさき)  
東京大学大学院工学系研究科・講師

[テーマ] Accurate Evaluation of Hepatocyte Metabolisms on a Noble Oxygen-Permeable Material with Low Sorption Characteristics.

(邦題) 薬物収着の抑制と酸素供給フラックスの制御に着目した高機能肝細胞培養系の開発

### [受賞理由]

動物実験代替法として、培養肝細胞を用いた中長期の代謝や毒性評価の重要性がますます高まっている中で、候補者は肝細胞への酸素供給の重要性に早くから着目し、生体内外における肝細胞機能の乖離を埋めるべく培養系の改善に取り組んできた。さらに、最近報告した新規素材を使った培養系は、簡便でありつつも正確かつ長期に肝細胞の代謝や毒性評価が可能な系であり、広く普及する基盤技術となる可能性を有している。

このように、受賞者は、動物実験代替法として利用可能な様々な *in vitro* 評価系開発への貢献に寄与しており、今後ますますの活躍が期待できる研究者である。

なお、授賞式は、11 月 18 日(金)~20 日(日)に静岡県立大学で開催される JSAAE 第 35 回大会にて執り行われます。

LRIは、国際化学工業協会協議会(ICCA)に加盟している欧州化学工業連盟、米国化学工業協会および日化協の3つの団体によって1999年から運営されているグローバルプログラムで、化学物質の安全性の向上と不確実性の低減を目的として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する研究を長期的に支援する自主活動です。日化協は、2000年からLRIを通じた研究支援を行っています。「日化協 LRI賞」は、LRIの認知拡大および理解促進を図るとともに、同分野の優れた若手の研究者および世界をリードするような新しい研究分野を発掘することを目指して2015年に設立されました。JSAAEおよび日化協LRIウェブサイトで公募を行い、JSAAE内学術委員会の厳正なる審査を経て、日化協LRI賞へ推薦された候補者を日化協が承認し、受賞者が決定されます。

以上

### 《本件に関するお問い合わせ先》

報道関係: 日本化学工業協会 広報部 池上 TEL:03-3297-2555  
一般の方: 日本化学工業協会 LRI 事務局 藤森 TEL:03-3297-2575